

三条市総合計画 策定協議会専門部会審議等概要

子どもが健やかに育つ環境づくり	P 2
持続可能で個性的な地域産業の振興	P 4
健康で心豊かに暮らせる環境づくり	P 5
全ての人の尊厳を守るまちづくり	P 6
住み良い地域づくり	P 7
災害に強いまちづくり	P 8
有識者会議	P 9

子どもが健やかに育つ環境づくり部会 審議概要

■ 検討

回	開催日	会場	出席者数	主な議題
第1回	10月17日	栄庁舎 大会議室	4人	・専門部会長の選出について ・専門部会で検討する基本施策の考え方について
第2回	11月9日	書面	4人	・専門部会で検討する基本施策の考え方について

※専門部会の出席者には会長を含めない（以下、同様）

■ 部会での主な意見等

基本施策案について

指摘箇所等	意見等の内容
全般 (参考資料 P2 ～11)	「子育て世代の転出超過が現実に見られ、将来人口の確保は市の存続に重要な要素であるため、子育て支援施策 先進都市を目指す。と掲げてもらいたい。」という意見に対し、事務局から「横軸にも掲げている転入の促進、転出の抑制の視点は重要であると考えており、子育て世代の転出超過は課題と捉えている。そのため、御意見を踏まえ、横軸の視点に、子育て、教育環境という区分を設け、市全体で取組を進めていく。」という回答があった。
「子どもが健やかに育つ環境づくり専門部会で検討する基本施策の考え方（参考資料 P3）」	「適正な規模の集団と記載があるが、適正な規模とはどの程度の規模を想定しているのか。」という質疑に対し、事務局から「現時点で適正な規模を決めているものではないが、様々な活動をしていく中で、交流が豊かになる適正な規模を検討していきたい。」と回答があった。
「安心して子育てに向き合える環境の充実（参考資料 P3）」	「子育ては母親に任せきりではなく、社会全体で行う時代である。そのため、企業の理解も大事であり、行政から子育て支援について働きかけることも必要と思うが、追記してはどうか。」という意見に対し、事務局から「持続可能で個性的な地域産業の振興において検討していく。」と回答があった。
「三条市の教育システムの深化（参考資料 P6）」	「学校は地域のコミュニティの中核となる役割を担ってきていて、応援したいと考えているが、実際には地域の人々が学校に足を運ぶ機会が減少しており、コミュニティスクールを進めるのは難しいと危惧している。」という意見に対し、事務局から「地域の人々が子ども達を育てるという考えは大切だと考えており、地域に根差した教育の展開の中でしっかりと取り組む。」と回答があり、資料の修正があった。
「学校教育を支える基盤の維持・強化（参考資料 P8）」	「教員の多忙解消について、学校、教育委員会の枠内で解消しようとしているが、地域社会、地域住民との役割分担という観点を持つべきではないか。」という意見に対し、事務局から「通学時の見守りなど、地域住民のお力をいただいております。今後も地域社会、住民の役割分担の観点も踏まえて取り組んでいく。」と回答があり、資料の修正があった。

<p>「三条市の教育システムの深化、多様性の理解促進と個に応じた支援等の充実、学校教育を支える基盤の維持・強化（参考資料 P6～8）」</p>	<p>「各項目で指導力改善に取り組むとしているが、反面、教員の労働時間もかさんでしまうため、バランスを考えて取り組む必要がある。」という意見に対し、事務局から「新しいことを進めると、教員の超過勤務時間につながる側面があるものの、想定している主な取組は、これまでの取組を深化、改善するものである。」と回答があった。</p>
<p>「安心して子育てに向き合える環境の充実（参考資料 P10）」</p>	<p>「経済的支援は掲げているが、実際には手が必要な場合もあり、何か支援制度を設けなくてよいのか。」という意見に対し、事務局から「子育て支援団『かるがも』など、民間の団体で、一時預かりを行っている。」と回答があった。</p>
<p>「母子保健の推進（参考資料 P11）」</p>	<p>「シングルファザーへの支援についてどのように考えているか。」という意見に対し、事務局から「本項目は妊婦のときから乳幼児の成長の期間の支援について整理しているもので、シングルファザーに対する支援はひとり親世帯等への経済的支援などの充実の中で検討していく。」と回答があった。</p>

持続可能で個性的な地域産業の振興部会 審議概要

■ 検討

回	開催日	会場	出席者数	主な議題
第1回	10月21日	三条庁舎本庁舎 第一会議室	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会長の選出について ・ 専門部会で検討する基本施策の考え方について

■ 部会での主な意見等

基本施策案について

指摘箇所等	意見等の内容
全般 (参考資料 P12～25)	「現状と課題、方向性については、疑義はないが、解決に至れない現実がある。具体の施策などの検討状況はどうか。」という質疑に対し、事務局から「具体の施策などは、実施計画を策定する中で検討していく。」と回答があった。
全般 (参考資料 P12～25)	「課題に対して誰がやるのか、10年後、20年後を見据え、今の20代、30代に頑張ってもらいたい。」という意見に対し、事務局から「次世代を担う人材の確保や育成が重要と考えており、産業施策では、未来志向の人材戦略として検討し、農業施策では、農業が職業に選ばれるよう所得の向上に取り組んでいく計画としている。」と回答があった。
全般 (参考資料 P12～25)	「製造業も農業も後継者の問題を抱えており、解決する手法は稼げることと考えている。直販など、稼ぐための具体的な取組を検討してほしい。」という意見に対し、事務局から「商工業における高付加価値化や農業の所得向上は計画にも掲げているとおり稼ぐ上で重要と捉えている。具体策は実施計画で検討していく。」と回答があった。
「農業所得の向上/中山間地域農業の振興 (参考資料 P21)」	「三条市の経営者は優秀な人が多く、農林分野で担い手不足や稼げる経営力に課題があるのであれば、商工業の経営者が農林の経営にアドバイスする施策を検討してはどうか。」という意見に対し、事務局から「農業所得が低く魅力的な就業先ではないため、まずは所得向上に向けた取組を進め、就農者の確保や離農者の抑制につなげていく計画としており、そのための施策の一つとして、実施計画を策定する中で検討していく。」と回答があった。
「農業所得の向上/中山間地域農業の振興 (参考資料 P21)」	「農業法人への集積化だけでなく、家庭内で農家を営んでいる方への支援も検討してほしい。」という意見に対し、事務局から「経営形態や経営規模の大小に関わらず、農業所得の向上に向けた効率化等に取り組む農業者を支援していくことを想定している。」と回答があった。
「農業所得の向上/中山間地域農業の振興 (参考資料 P21)」	「生産コストは下げなければ、担い手も育たないため、行政としてしっかりと基盤整備に取り組んでほしい。」という意見に対し、事務局から「財政状況を踏まえながら、担い手への農地の集積化につながる基盤整備を計画的に進める。」との回答があった。

健康で心豊かに暮らせる環境づくり部会 審議概要

■ 検討

回	開催日	会場	出席者数	主な議題
第1回	10月13日	三条庁舎本庁舎 大会議室南側	4人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会長の選出について ・ 専門部会で検討する基本施策の考え方について

■ 部会での主な意見等

基本施策案について

指摘箇所等	意見等の内容
体系について (参考資料 P28)	「中項目の『健康づくりの推進』と『地域包括ケアの推進』の関係性について、一人の人間単位で考えれば、生まれてから亡くなるまでの継続性と、疾病の予防から病気になるまでの継続性など、様々あると思う。計画の構造上、中項目で分けているが、実施計画など次の段階では、重なる部分があると捉えてよいか。」という質疑に対し、事務局から「基本計画策定時には分野を区切っているが、実際の施策立案においては、分野横断的な施策、切れ目のない施策を意識し取り組んでいく。」と回答があった。
「健康意識の醸成及び向上 (参考資料 P31)」	「生活習慣病を患っている方を対象に、症状の改善に効果的な取組の情報発信など、スポーツ協会で議題になったことがある。それらを進める場合には、スポーツ協会として医師会と連携していくべきなのか、市が間に入り進めていくのか。」という質疑に対し、事務局から「スポーツにより体の不調を改善する取組は、スポーツの裾野を広げることにもつながることから、市とスポーツ協会と医師会と連携していきたい。」と回答があった。
「適切な医療資源の活用(参考資料 P33)」	「医療提供側の視点だけではなく、受診者向けの施策はないのか。」という質疑に対し、事務局から「三条市医師会と連携し、市民に対し、自身の症状に応じて地域の診療所など、適切な医療機関の受診勧奨を推進していく。」と回答があった。
「支援体制の充実(参考資料 P34)」	「地域づくりの主体となる自治会が、一人暮らし高齢者や要介護高齢者の情報を把握できていない。今後も情報の共有の部分は、民生委員児童委員頼みということになるのか。」という質疑に対し、事務局から「自治会だけではなく、民生委員児童委員、民間の団体、企業等が協力して地域に必要なことに取り組むことが重要であり、それらの地域資源と地域の課題を結び付け、課題の解消に取り組む。」と回答があった。

全ての人の尊厳を守るまちづくり部会 審議概要

■ 検討経過

回	開催日	会場	出席者数	主な議題
第1回	10月20日	三条庁舎本庁舎 第一会議室	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会長の選出について ・ 専門部会で検討する基本施策の考え方について

■ 部会での主な意見等

基本施策案について

指摘箇所等	意見等の内容
全般 (参考資料P41～46)	「尊厳を総合計画の柱に据えている点は特筆すべき取組である。この項目を掲げ、人を大事にしているまちとしてのイメージを三条市として発信していくことが大切だ。」という意見があった。
体系について (参考資料P42)	「尊厳に対する感覚の深化は良い取組であるが、小項目「既存の権利課題に対する感度の向上」は子ども、小項目「新たな権利課題に対する認知度の向上」は一般市民という整理で良いか。」という質疑に対し、事務局から「対象者を分けることなく、両小項目ともに全ての市民を対象としている。」と回答があった。
「社会の変化に即した支援の充実(参考資料P45)」	「障がい児を助ける前に親を助けることはできないか。」という質疑に対し、事務局から「子どもへの虐待などを防ぐという観点から、子どもを支援していくことが親の支援にもつながるものと捉え、学校、保育所等で相談にのるなど、支援に努めている。」と回答があった。

住み良い地域づくり部会 審議概要

■ 検討経過

回	開催日	会場	出席者数	主な議題
第1回	10月12日	三条庁舎本庁舎 第一会議室	5人	・専門部会長の選出について ・専門部会で検討する基本施策の考え方について
第2回	10月26日	三条庁舎本庁舎 第一会議室	5人	・専門部会で検討する基本施策の考え方について

■ 部会での主な意見等

基本施策案について

指摘箇所等	意見等の内容
「道路ネットワークの強化」(参考資料 P52)	「道路整備について進捗が遅れ、進んでいないと感じているが、道路計画についての見直しなど行われているのか。」という質疑に対し、事務局から「道路ネットワークの強化に当たる各交通軸の整備に取り組む際に必要に応じて見直していく。」と回答があった。
「公園・緑地等の整備」(参考資料 P54)	「開発行為に伴う小規模な緑地をまとめていくという方針を入れることはできないか。」という質疑に対し、事務局から「維持管理経費の負担も膨大であり、集約も含めた計画としているところである。」と回答があった。
「住宅性能の向上」(参考資料 P56)	「克雪に対する支援とあるが、利雪という考えがないように思うが、検討しなくてもよいのか。」という質疑に対し、事務局から「降雪から暮らしの安全、安心を守るという視点から克雪を掲げており、利雪までは視野に入れていない。」と回答があった。
「交通安全対策の推進」(参考資料 P60)	「交通安全施設の整備に自転車専用道路の設置も組み込んでどうか。」という意見に対し、事務局から「自転車専用道路の設置は安全確保の観点から必要と考えており、実施計画の策定の中で検討していく。」と回答があった。
「移住・定住の促進」(参考資料 P62)	「移住までの支援のみならず、移住後のフォローアップも肝要であり、他自治体を上回る支援が必要と思うがどうか。」という質疑に対し、事務局から「現在注力している近隣住民との関係構築などの支援に加え、周囲の動向も踏まえ、移住に要する費用の支援策の拡充について実施計画などにおいて検討していく。」と回答があった。

災害に強いまちづくり部会 審議概要

■ 検討経過

回	開催日	会場	出席者数	主な議題
第1回	10月12日	三条庁舎本庁舎 第一会議室	5人	・専門部会長の選出について ・専門部会で検討する基本施策の考え方について
第2回	10月26日	三条庁舎本庁舎 第一会議室	5人	・専門部会で検討する基本施策の考え方について

■ 部会での主な意見等

基本施策案について

指摘箇所等	意見等の内容
全般 (参考資料P66～74)	「掲げられている項目等については賛成だが、多岐にわたる問題の実効ある方策として、行政のみならず、あらゆる団体と連携し運営してほしい。」という意見に対し、事務局から「行政だけではなく、地域や企業等と協働して様々な課題の解決に取り組む。」と回答があった。
全般 (参考資料P66～74)	「行政としての『防災力の維持』や『減災のための地域づくり』などの項目が、専門家などからみても適切であるのか。」という質疑に対し、事務局から「防災対策総合アドバイザーも、自助、共助の重要性を指摘されており、本計画案についても齟齬がないものと捉えている。」と回答があった。
「地震対策の充実(参考資料P70)」	「高齢者の多い商店街や山間地では、地震や火事などを理由とする補修などに意欲的ではない方も多い。」という意見に対し、事務局から「改修を強制することはできないが、地震の特性上、家屋の耐震化は命を守る上で優先度の高い取組であり、引き続き制度の利用促進に努めていく。」と回答があった。
「自らの安全を守る知識の向上、実践(参考資料P71)」	「SNS利用者増加はどのような方法で行うのか。」という質疑に対し、事務局から「災害時における公式ライン等の活用を念頭においており、機能強化、利便性の向上を図り、平時から利用者の増加に取り組み、いざという場合に多くの人がラインから災害情報を得られるような状態を目指していく。」と回答があった。
「地域防災力の維持、向上(参考資料P72)」	「世帯の働き方や町内交流の機会の減少など、人のつながりが薄れている可能性や、被災した経験のない世代が親世代となることなどにより、共助意識が低下するなど、将来リスクがあるのではないか。」という質疑に対し、事務局から「共助に対する意識の啓発に加え、近年の環境変化を踏まえた共助の枠組みを再構築することが必要であり、地域とともに実情に即した形を検討していく。」と回答があった。

有識者会議 意見概要

■ 検討経過

回	開催日	会場	出席者数	主な議題
第1回	11月8日	書面	5人	・行政課題に対する価値判断基準の反映状況について

■ 有識者会議での主な意見等

全体について

総じて、良く練られた総合計画であると思う。職員や総合計画策定協議会の委員の方々が、よいパフォーマンスを発揮されていると感じた。

価値判断基準（横軸）について

指摘箇所等	意見等の内容
「転出の抑制・転入の促進について（資料3基本構想 P6）」	【意見】 「転出の抑制、転入の促進」の下位目標として、「働く場の魅力」、「生活の場の魅力」、「子育て、教育環境」を掲げるのであれば、自然減も含めた「人口減対策」としてはどうか。
	【考え】 転出抑制、転入促進に向けた「働く場」や「生活の場」の魅力向上は、若者に暮らしの安心感をもたらし、中長期的な自然動態の改善にも寄与するものと考えられるため、その旨を記載し、横軸の表題を「転出の抑制、転入の促進及び自然動態の改善」に改める。
「転出の抑制・転入の促進について（資料3基本構想 P6）」	【意見】 「働く場の魅力」として、客観的指標としてより今日的な相応しい表現であるウェルビーイングという用語を活用してはどうか。
	【考え】 所得の向上を実現するとともに、多様な人材が活躍できる環境づくりを進めることが、雇用競争力の強化につながるのみならず、経済成長のエンジンにもなると認識している。そのことを念頭に「商工業の振興」において「未来志向の人材戦略」に取り組むこととし、専門部会で御審議いただいていた。こうした考えを端的に表現するため、基本構想に示す「商工業の振興」の概要に職場のウェルビーイングの実現に取り組む旨を記載することとする。

価値判断基準（横軸）の反映について

指摘箇所等	意見等の内容
「子どもが健やかに育つ環境づくり（参考資料 P2～11）」	【意見】 子どもが健やかに育つ環境づくりとして、職域におけるワークライフバランス支援も重要なため、市として職場の支援充実を推進してはどうか。
	【考え】 「持続可能で個性的な地域産業の振興」の中の、未来志向の人材戦略において検討して

	いく。
「三条市の教育システムの深化(参考資料P6)」	【意見】 多様な他者との交流として、地域における多様性(外国人や障がい者など)への理解を深める教育もシステムとして組み込まれ、地域社会の多様性への理解も育んでいただきたい。
	【考え】 多様な他者との交流を通じて地域における多様性への理解も育んでいくこととしている。
「三条市の教育システムの深化(参考資料P6)」	【意見】 部活動等に地域の人材の発掘や連携を深めていくためには、情報の発信力も高めていかなければならないか。
	【考え】 地域や保護者の理解や連携を深めていくため、時期を捉えて情報発信を行っていく。
「母子保健の推進(参考資料P11)」	【意見】 SNSを活用した支援を含めることを検討してはどうか。
	【考え】 LINEを活用し、相談窓口体制の充実に取り組んでいるが、今後も「安心して子育てに引き合える環境の充実」に掲げているとおり相談体制の充実を検討していく。
「個に応じた切れ目のない一貫した支援(参考資料P11)」	【意見】 孤立を防ぐため、つながりやすい相談窓口の整備及び窓口をわかりやすく周知するための情報発信の強化に取り組んでいただきたい。
	【考え】 「安心して子育てに引き合える環境の充実」に掲げているとおり、子育て世代への情報発信や相談体制強化に取り組んでいく。
「個に応じた切れ目のない一貫した支援(参考資料P11)」	【意見】 SNSを活用した支援を含めることを検討してはどうか。
	【考え】 LINEを活用し、相談窓口体制の充実に取り組んでいるが、今後も「安心して子育てに引き合える環境の充実」に掲げているとおり相談体制の充実を検討していく。
「生産性向上の推進(参考資料P18)」	【意見】 雇用できる人材の不足に対応するため、女性、外国人、障がい者など多様な人材の活用による生産性の向上という考え方があってもよいのではないか。
	【考え】 人材については、未来志向の人材戦略において検討することとしており、多様な人材が活躍できる環境の整備にも取り組んでいく。
「未来志向の人材戦略(参考)	【意見】 個の多様性として、雇用労働環境の改善が該当しているとされているが、高度人材の確

資料 P20)」	保・育成についても該当するものと考えているが。 【考え】 多様な人材を確保し、活躍できる環境の整備について進めていくこととしている。
「中山間地域農業の振興(参考資料 P21)」	【意見】 教育旅行やサステイナブルを意識した旅行により、中山間地域における農業の価値を伝達する工夫がなされているので参考にしてほしい。 【考え】 中山間地域の農作物の生育環境の見える化などは、農産物のブランド化の向上につながることから様々な取組について検討していく。
「健康課題へのアプローチの深化(参考資料 P30)/適切な医療資源の活用(参考資料 P33)」	【意見】 健康づくり、健康意識の向上には、市民の多様な行動様式や多様な価値観に応じた健診形態や働きかけを検討する必要があるのではないか。 【考え】 多様な行動様式に応じた受診勧奨の取組などを検討していく。
「健康意識の醸成及び向上(参考資料 P31)」	【意見】 スマホアプリや SNS を活用した働きかけを含めることを検討してはどうか。 【考え】 LINE において、健康に特化したアカウントを整備し、健康情報の発信に努めている。今後も働きかけについて検討していく。
「今後の変化を踏まえたサービス提供体制の整備(参考資料 P35)」	【意見】 支援者側の働き方に対する多様なニーズを組み入れたサービス提供体制について検討していくことが多様性につながると思われるがどうか。 【考え】 多様なニーズに対応し、支援者側の負担を軽減する取組を進めることとしており、結果として持続性、多様性につながるものと考えている。
「幅広い活躍の場の創出(参考資料 P40)」	【意見】 市民の参加・活躍を促すためにも、コミュニティ活動等について、よりアトラクティブな情報発信が大切と考えるがどうか。 【考え】 現在取り組んでいる、まちなかに居住する学生による地域の情報発信のように、様々な切り口からコミュニティ活動等に興味を持ってもらうための情報発信に努めていく。
「空き家対策の推進(参考資料 P53)」	【意見】 空き家・空き地バンクの物件の場所が地図とリンクしていると移住などを考えている市外の方にとって見やすいと感じた。それらの取組を進めることを検討してはどうか。 【考え】 今年度「空き家・空き地バンク」の見直しすることとしており、御意見のリンクについて

	も実施していく。
「上下水道の整備(参考資料P55)」	【意見】 水資源や自然環境の意義、歴史的背景を市民等に伝えていくことが、市民等の自然環境の保全などにつながると考えられるので検討してはどうか。
	【考え】 良好な水資源の維持のためには、効果的、効率的な汚水処理の推進が必要であり、市民等の意識を高めることも重要であるため、様々な取組を検討していく。

実施計画の策定時に参考とするべき意見について

指摘箇所等	意見等の内容
「保育環境の充実(参考資料P9)」	「将来的な放課後児童クラブ登録者数の減少が見込まれる中で、小学生の充実した放課後の過ごし方を目指す高い志を維持し、コスト面の実現可能性などを考慮し、最適解を導き出していただきたい。」という意見を受け、実施計画策定の参考にすることとした。
「生涯学習の推進(参考資料P37)」	「生涯学習とは新たなことを学ぶだけではなく、多世代と交流による知的刺激、健康の向上も意識することが望ましい。一方的に学ぶのではなく、相互に教え合うなど受動から主体的教育への転換が望まれる。」という意見を受け、実施計画策定の参考にすることとした。
「移住・定住の促進(参考資料P62)」	「移住者への金銭的支援が進むと地域づくりに参加しないフリーライダーが増えることも懸念されることから、「自分がこの地域に関われる可能性がある」という前向きな想いを抱けるようなコミュニケーション施策を取ることが肝要である。」という意見を受け、実施計画策定の参考にすることとした。
新たな技術の活用への意見	「LINEにメニュー等を設けることでLINEからワンストップで各種サービス・支援につながるができるので、低コストでSNSサービスの充実を図ると良い。」という意見を受け、実施計画策定の参考にすることとした。

※ その他、23件の意見をいただき、実施計画策定の参考にすることとした。